

事業番号2：温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

【課題・問題点等】

《事業の成果・活動指標について》

- 活動指標である、GOSAT シリーズの観測データから推計した温室効果ガス排出量と排出インベントリ報告とを比較評価した国数を、令和9年度までに8か国に増やすという目標の妥当性には疑問がある。
- 成果目標について、論文数が増加すればよいのではなく、気候非常事態下における政策の意思決定にどれだけ活用され、ひいては温室効果ガス削減にどれだけ貢献したかが問われるのでは。

《調達方法について》

- 現行の契約は、契約業者に原価低減のインセンティブが働かないのでは。
- 専門性が高い業務においては入札業者も限られ、入札額が高止まりする傾向があるのでは。

《他国との連携及びデータの活用について》

- GOSAT データの実用性について世界に認められるために、何をしているのか、何をすべきなのかを明確にすべきでは。
- 各国で類似の研究開発をするのは非効率であるため、各国で競争するのではなく協調して開発をした方がいいのでは。

【改善の手法や見直しの方向性】

《事業の成果・活動指標について》

- アウトカムを論文数のほかにも明確に示すべき。

《調達方法について》

- 契約業者に原価低減のインセンティブを持たせる契約方式の具体化を検討すべき。
- 原価監査体制の強化とインセンティブ契約の利用など、調達方法において工夫する余地があるのでは。
- 委託先や再委託先における調達方法について透明性を高めるべき。

《他国との連携及びデータの活用について》

- 他国・地域との協力のあり方や後継機の具体的な構想をできる限り早期に明確にした上で、他国・地域との連携・役割分担の検討を進めるべき。
- 政策に活用されるための国際的なルール形成にスピード感を持って取り組むべき。
- 有料でのデータ利用サービスを広げるなど衛星にかかる費用の分担や回収を検討できないか。
- 他国に比較して精度が高いので、日本のデータが他国でも利用出来るようデータを発信し、国際貢献すべき。
- 高額な予算であるため、他国との連携により費用負担をしてもらうことも検討すべき。

評価結果

事業内容の一部改善

(事業全体の抜本的な改善：1人、事業内容の一部改善：4人、現状通り：1人)

とりまとめコメント

- ・ 非常に専門性が高いので原価低減のインセンティブを持たせる契約方式を検討すべき。
- ・ 成果目標を論文数だけでなく政策に結びつく内容に見直すべき。